

令和5年陳情第39号
関係資料

「大井町駅東口C地区」におけるまちづくりの動きについて

<概要>

大井町駅東口C地区では、今後のまちづくりのあり方を考えることを目的とした「(仮称)東大井5丁目1～4番地区(C地区)勉強会」が令和元年と令和2年に計5回開催されている。勉強会では、地区内の土地建物所有者が当地区の現況や課題について意見交換を行い、認識を共有したうえで、将来のまちづくりについて話し合われているが、令和3年以降はコロナ禍もあり開催されていない。また、勉強会の幹事役の方々からは、コロナの影響も薄れ、商店街に客足が戻ってきたことから、このにぎわいを維持するとともに、JR 開発への来街者の動向に注視していきたい、多様な方が楽しめる雰囲気づくりやインフラの維持管理が必要などの意見も出ている。

また、一部の地区内権利者による「東大井5丁目1～4番地区 再開発を心配する会」でも話し合いが行われている。

8月 7日 再開発を心配する会から区に決議文などが提出
(大井町東口C地区のみ抜粋)

1. 権利者の生活を不当に侵害する都市再開発事業の中止を要請する。
2. 都市再開発事業を強行する場合には、此れに断固反対せざるを得ない。

10月18日 区からの回答

区としましては、東大井5丁目1～4番地区(C地区)のまちづくりは、地域の皆様がまちの現状や課題について十分に意見交換を行い、認識を共有したうえで、将来どのようなまちにしているのか話し合っていたと段階であると認識しております。

<位置図>

